



当社のさらなる飛躍に向けて、積極的に成長投資を行うと同時に、資金調達やリスク管理等成長をささえるための経営基盤をしっかりと強化し、中期経営計画2025の実現を図ってまいります

代表取締役副社長 永峰 宏司

## 2022年度の業績及び新中計について

2022年度は、従来から進めてきました、注力分野を中心とした採算重視の取り組みや、持分関連会社等へのインオーガニック投資が成果を上げたことにより、ベース収益が向上し、前年度からのV字回復を達成、当期利益284億円と過去最高益を大きく更新しました。

これにより、前中計の目標達成に目途がついたことから、今年度より、新たな中期経営計画をスタートすることとしました。お客さまのニーズの変化やサステナビリティ分野への取り組みなど、経営環境が激変するなかで、当社がさらなる飛躍を遂げるため、新たな戦略を定

めたものです。

この中期経営計画の位置づけについて申しあげると、成長の時間軸の異なる事業ポートフォリオをマネージするとともに、次の成長に向けた必要な投資を行う期間と考えています。営業資産については、みずほ連携を含む各種アライアンスを活用しながら、7,000億円を超える積上げを想定しています。インオーガニック投資も1,500億円程度を国内外で行い、また、将来の成長・ビジネス領域の拡大を見据え、システム投資や人財投資も積極的に進め、経営基盤を強化していきます。

### 2022年度業績(億円)

	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	4,979	5,548	5,297
営業利益	260	179	318
経常利益	275	201	401
親会社株主利益	218	149	284

事業ポートフォリオについては安定的に収益を計上する「コア」も伸ばさせつつ、より成長性を見込める「グロース」を大きく伸ばすことにより、成長を加速させていき、将来収益の柱の一つになることを期待する「フロンティア」に先行投資していく、このように考えています。

新中計最終年度の財務目標としては、アセットを伸ばさせながら収益性を重視した取り組みを進めることで、当期利益420億円、ROA1.6%以上、ROE12%以上と設定しました。

### 成長を支える資金調達

調達環境については、2022年3月から、欧米を中心に複数回の利上げが実施され、外貨金利は大幅に上昇、また、日銀の政策変更による円金利の上昇も想定されつつあります。長期的に見ればリース料に転嫁され、営業資産の利回り向上が見込まれますが、足元では、外貨を中

心に資金調達にかかるコスト増加が先行している状況となっています。

このような環境下、当社グループでは、みずほ銀行をはじめ、100を超える金融機関からの間接調達と、CP（コマーシャルペーパー）や社債、債権流動化等の直接調達をバランス良く組合せ、安定的な資金調達を実施しています。新中計では、積極的に営業資産を伸ばさせる予定ですが、金融機関や投資家とは良好な関係を築いており、直接・間接ともに成長を支える資金調達の体制は十分に整っているものと考えています。

また、金融機関や投資家のなかでも、年々サステナビリティへの関心が大きく高まっており、今後、資金調達を検討する上で、サステナブルファイナンスは必要不可欠なものとして認識しています。

当社グループでは、新中計にてサステナビリティへの取り組み方針も明確化したことに加え、再生エネルギーへの取り組みが大きく伸びていることもあり、資金調達にも積極的に活用していきたいと考えています。

### リスクリターン運営高度化

中計ビジネス戦略を推進していくにあたり、ビジネス領域やリスクプロファイルは拡大・複雑化していくことが想定されます。例えば、インドRent Alpha社の株式を取得し、高い成長を見込める市場の取込に挑戦していますが、今後もインオーガニック投資も含め、ビジネスを進めるにあたり、リスクをより注意深く見極める必要があると考えています。

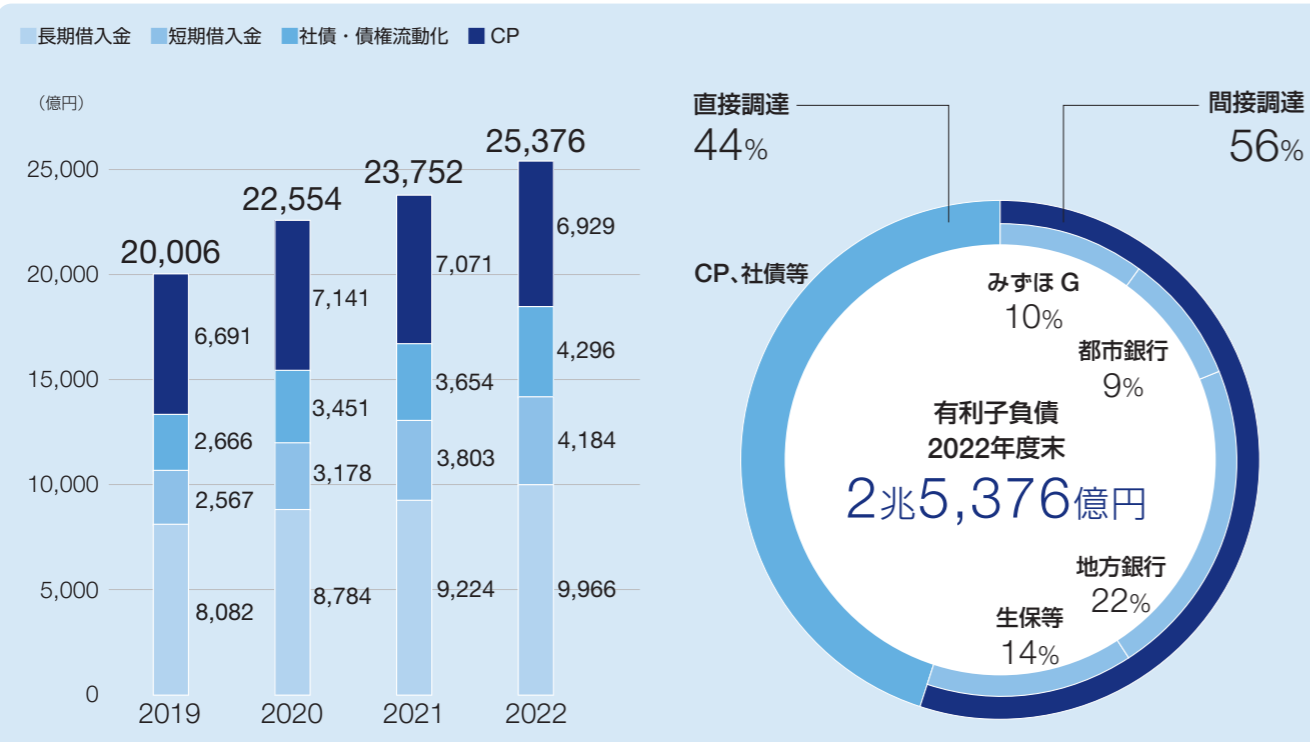
具体的には、従来型のクレジットリスク・金利リスクだけではなく、アセットリスクや事業リスク等多様なリスクを有する営業資産の積上げに対応するため、意思決定およびモニタリング体制を強化し、適切にコントロールすることにより、リスクリターン運営の高度化を図り、収益拡大を支えていきます。

### 株主還元方針について

株主に対する利益還元については、収益力の向上を図りつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針としています。この方針のもと、配当性向の水準やさまざまな手法による利益還元の強化と、成長投資や事業基盤の充実による収益力および企業価値のさらなる向上との、最適なバランスを実現してまいります。

当社グループの成長ポテンシャルは高く、新中計の施策を進めることにより、さらに収益力を高めてまいります。

### 有利子負債残高



### 株主還元方針

